

白山ふるさと文学賞

第六回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【島清部門】

小学生5・6年作文の部 優秀賞

ルールやマナーを考えられる人に

千代野小学校五年

中野なかの

有珠ゆず

私は、二週間に一度、プラスチックなどのゴミ出しをしています。そのときにケースの中を見ると、アルミカンが、自分の持ってきたふくろの中から出さずにそのまま置かれていたり、白いビンの中に、茶色いビンが一つ入っていたり、金属のものが、スチールカンのケースの中でまぎっていたりするのを見ます。二時に、ゴミステーションをあげないといけないのにあいていなかったりすることもあります。資源ゴミを出しに来たのに、また持って帰る人の姿も見ることがあります。

「大人なのに、どうしてすっかり分別しないんだろう!!」

「なんで時間を守ってくれないんだろう!!」と思い、私は、少しムツとすることがあります。学校で、環境のことを習ったので、大人がしている分別を見て、

「ちよつとしたことなのに、何で守れないんだろう?」

と、いつも不思議に思っていました。でも、そんな人たちとは反対に、私に、

「ゴミを中に入れてあげようか?」

と言ってくれる親切なおじさんもしました。そんなときには、私はホツとします。

「中にはいい人もいるんだね。」

と、私は、祖母に伝えました。

半年くらい前に、私は、カンをポイ捨てしている人を見ました。その人は、赤い車に乗っていて、カンジュースのようなものを飲んでいました。赤信号になって車が止まると、ジュースを全て飲んでから、横にあった手のとどく石の上にカンを置きました。そして、青信号になったら、カンをそこに置いたまま行ってしまいました。私は、

「えっ?」

と、声を出してしまいました。母の顔を見たら、母も同じような顔をしていました。

たまに、家の前に、タバコのすいがらが落ちていることがあります。

タバコをすう人は、だんだん少なくなってきたと聞くし、タバコをすいながら歩く人は、まずいだろうと思うのに、なぜか落ちています。責任をもって後しまつをしてほしいなと思います。

ゴミだけではなくて、他に、こんなマナーもあると思います。最近、テレビで、国会議員が、ぼう言を言っている姿です。

「私がいいって言うんだからいいんだよ!」などと言っていて、ぼう力もふるっていたようです。国会議員の人間性という問題もあって言われていましたが、『言葉のマナーはこれでいいのかな?』と思いました。先生が、生徒にぼう言とぼう力をしたというニュースもありました。国会議員のと同じで、大人や子供に関係なく、相手に対してのマナーの悪さだと思います。いじめも、ちよつとした意地悪もそうです。相手をとてもイヤな気持ちにさせます。ぼう言は、強い人が弱い人に使う言葉ではなくて、ちゃんと話をして、相手に分かるように伝えるべきだと思います。他にも、私がU S Jに行ったときに、外国の人たちがたくさんいましたが、私にぶつかった女の人は、私にあやまらずに、そのまま行ってしまいました。そんなときのあいさつもありません。

信号を守ったり、人の家に行ったときにはその家のルールがあったり、学校にも学校のルールがあります。ルールを守ることも、マナーを守ることと同じだと思います。「ルール||きまり・規則(守らなければならぬきまり)」と、「マナー||動作や態度」を辞典で調べてみました。環境へのマナーもあるし、助け合いのマナーもあるし、乗り物に乗るときにのルールやマナーもあるし、気をつけなければいけないことは、他にもたくさんたくさんあります。相手がいたら、必ずそこにはルールができるし、だから、人と関わるすべてのことにルールはあるし、マナーの問題が出てくるんだと思います。社会の中で、人と関わったときの態度がどうであるかがためされているんだと思います。私のマナーはどうかという、まだまだ出ていないと思うけど、私が感じた大人の人たちのようではいけないと思いました。

私は、これからも、プラスチックや、カンのゴミ出しを続けていきます。そのときに、まちがって出されてあるカンなどを見つけたら、自分から直して、ケースの中に入れかえてあげられるようにしたいです。そう言えば、祖父は、よくそんなことをしていました。めんどくさいからとか、後の人のことを考えないのではなくて、私は、相手のことを考えられる大人になりたいです。

